

# 取組事例 4 (茨城県) 牛久市立ひたち野うしく中学校

事務局 / 自立した学校運営協議会



## 牛久市立ひたち野うしく中学校の概要

学級数	生徒数	学校運営協議会委員数
16学級	444人	19人

※1 R6時点

## ひたち野うしく中学校の3大ポイント

### ① 協議を主とした学校運営協議会

①開会(進行:事務局) 13:00-13:05

- 1.はじめの言葉
- 2.学校運営協議会・会長あいさつ
- 3.学校長あいさつ

②協議(進行:学校運営協議会 会長)

13:05-15:55

- 1.職場体験学習の進捗について(教頭)
- 2.「ふれあい祭り」について(CS委員)
- 3.地域活動室について(CS委員)
- 4.授業参観(教務主任)

「授業参観」のポイント

- ・本時の「ねらい」の達成
- ・地域の方による学校教育の理解
- ・教員の授業力向上

5.次回の学校運営協議会について  
(教務主任)

6.教職員との意見交換会

③閉会(進行:事務局) 15:55-16:00



授業を参観するCS委員



### ② 事務局を中心とした自立した学校運営協議会

- 学校運営協議会の前には、事務局を中心に「事前打ち合わせ」を実施

今度の学校運営協議会では何を・どのように協議するか?



事務局



3名の事務局員

教頭

PTA副会長

CS会長 校長 市教委

事務局員

「地域の方々」が会議を運営

議事録の作成、発信も事務局が担当

### ③ 全教職員と連携した学校運営協議会(教職員との意見交換会)

【協議内容】

- ①授業参観を通して感じたこと
- ②各学年の状況について



- ・今回意見交換してみてどうだった?(教頭)

・学校運営協議会は、正直何を話しているのかわらなかったけれど、今回委員の皆さんと話をして、たくさんの協力をいただけるものということが初めて分かりました。  
(教職員)



CS委員と教職員との意見交換

・今までは「自分たちで何とかしなきゃ」と視野が狭くなっていったけれど、今日の話からもっと周りを頼って抱えこまないようにしようと思いました。  
(教職員)

・我々も、今までは学校をよくしていきたいと思って取り組んできたが、なにをやっていくのかわからなくなってきた。そこで、先生とコミュニケーションを取って自分たちに何ができるのかを考えていく基盤を作る1年にしたい。(CS委員)

・先生たちが生徒と向き合える時間を確保できるようにしていきたいんですよ。  
(CS委員)